

SDGsの取り組み

2020年10月までの成果

湿地環境維持管理の継続でSDGsへの貢献

具体的な数値目標とロードマップによる現状と方向の把握

十勝川中流部市民協働会議

SDGsとは「持続可能でより良い世界を目指す国際目標」



当会は13・15・17について取り組む

当会としての「SDGs」に対する考え方

1. SDGsを「美しいスローガン」にするのではなく、
数値指標と具体的な行動の課題別目標に明確化する。
2. 進捗率と進むべきベクトルを定期的にチェックしながら行動する。

湿地環境の維持管理で該当するSDGs目標

13 気候変動に
具体的な対策を



13【気候変動に具体的な対策を】

行動→再樹林化を防止し、湿地、草原環境を維持することで、

行動→再繁茂するヤナギ林の伐採量を減らしその工事に伴う

行動→温室効果ガス(二酸化炭素量)を抑制する。

目標→2030年までに温室効果ガスを45%削減する。

15 陸の豊かさも
守ろう



15【陸の豊かさも守ろう】

行動→ヤナギ単層林から多様なハビタットへの変化で創出した、

行動→生物多様性を維持する。

目標→湿地環境の創出により49%増加した生物種数を

目標→2030年まで維持する。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



17【パートナーシップで目標を達成しよう】

行動→川づくりにおけるアイヌ民族文化とのパートナーシップと

民族文化伝承への協力する。

目標→32.4m²/年のゴザ(キナ・チタラペ)原材料のガマ(シキナ)を提供し続ける。



13【気候変動に具体的な対策を】

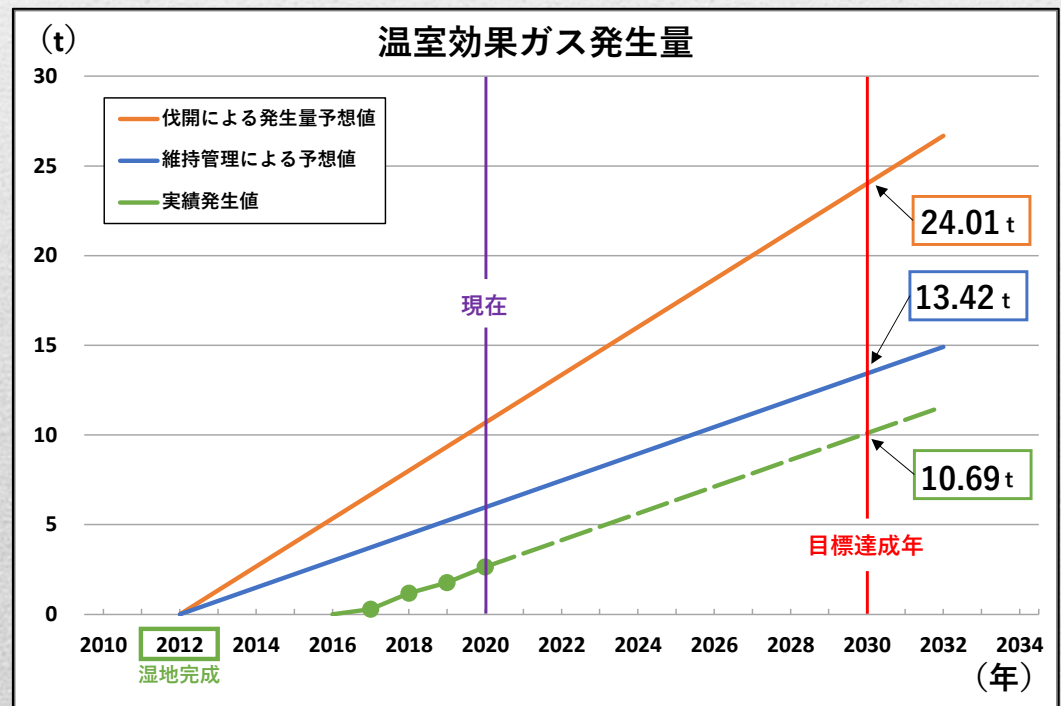
目標：2030年までに温室効果ガスを45%削減する。

2020年10月現在までの成果

湿地完成より5年間は、湿地・草原環境ともに維持されていたが、2016年度(平成28年)の増水による土砂堆積によって、その土砂の撤去作業が追加されたが、2020年度(令和2年)では当初の温室効果ガス排出予想値を下回る結果となった。

年度	重機稼働時間 (h)	軽油使用料 (ℓ)	温室効果ガス排出量 (t)
2017	7	112	0.293
2018	21	336	0.880
2019	14	224	0.587
2020	21	336	0.880

← 2017年から今年度にかけての作業で排出した温室効果ガス



当初45%の削減を目標としていたが

20.01 t > 10.69 t = 55%の削減

ができることになる。

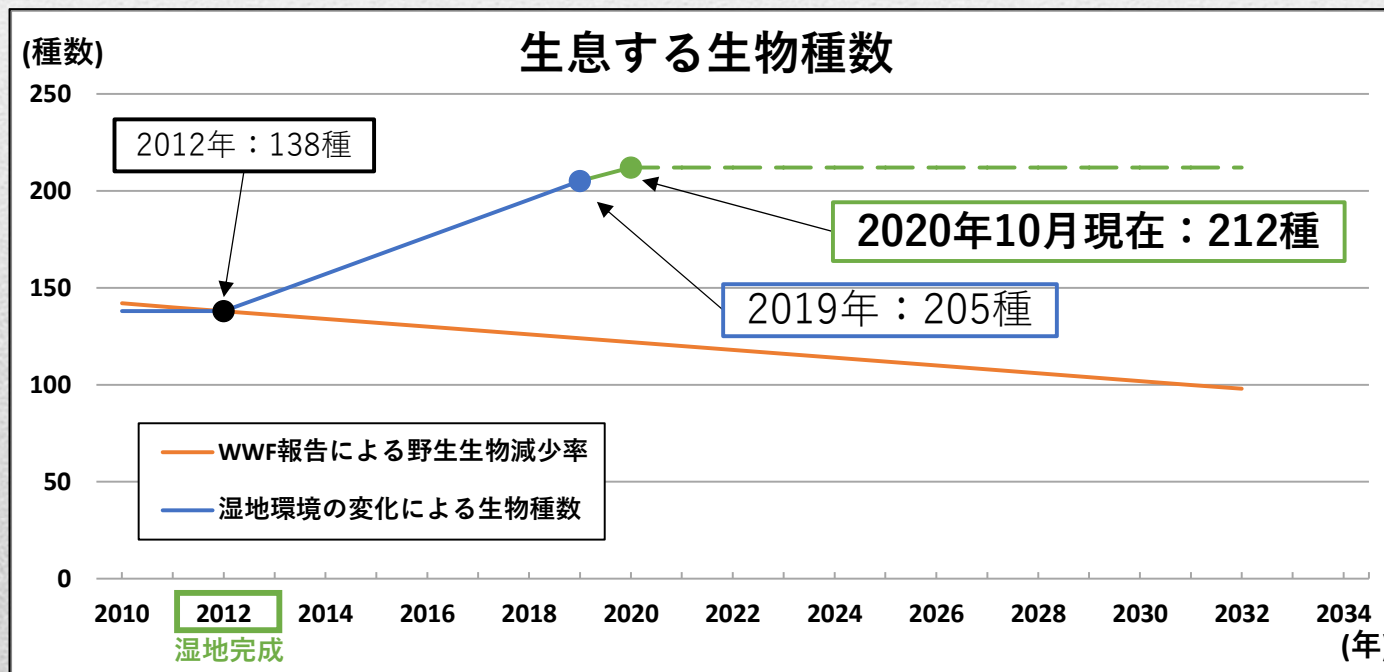


15【陸の豊かさも守ろう】

**目標：湿地環境の創出により49%(138種→205種)増加した
生物種数を2030年まで維持する。**

2020年10月現在までの成果

元々ヤナギ単層林だった場所を、湿地環境を含む多様なハビタットへと変化させたことで、湿地造成前は138種だった生物数が、2019年度までで205種と49%の増加が見られていた。2020年10月現在までに、新たに7種類の生物が確認され、合計212種となり湿地造成前から54%増加となった。



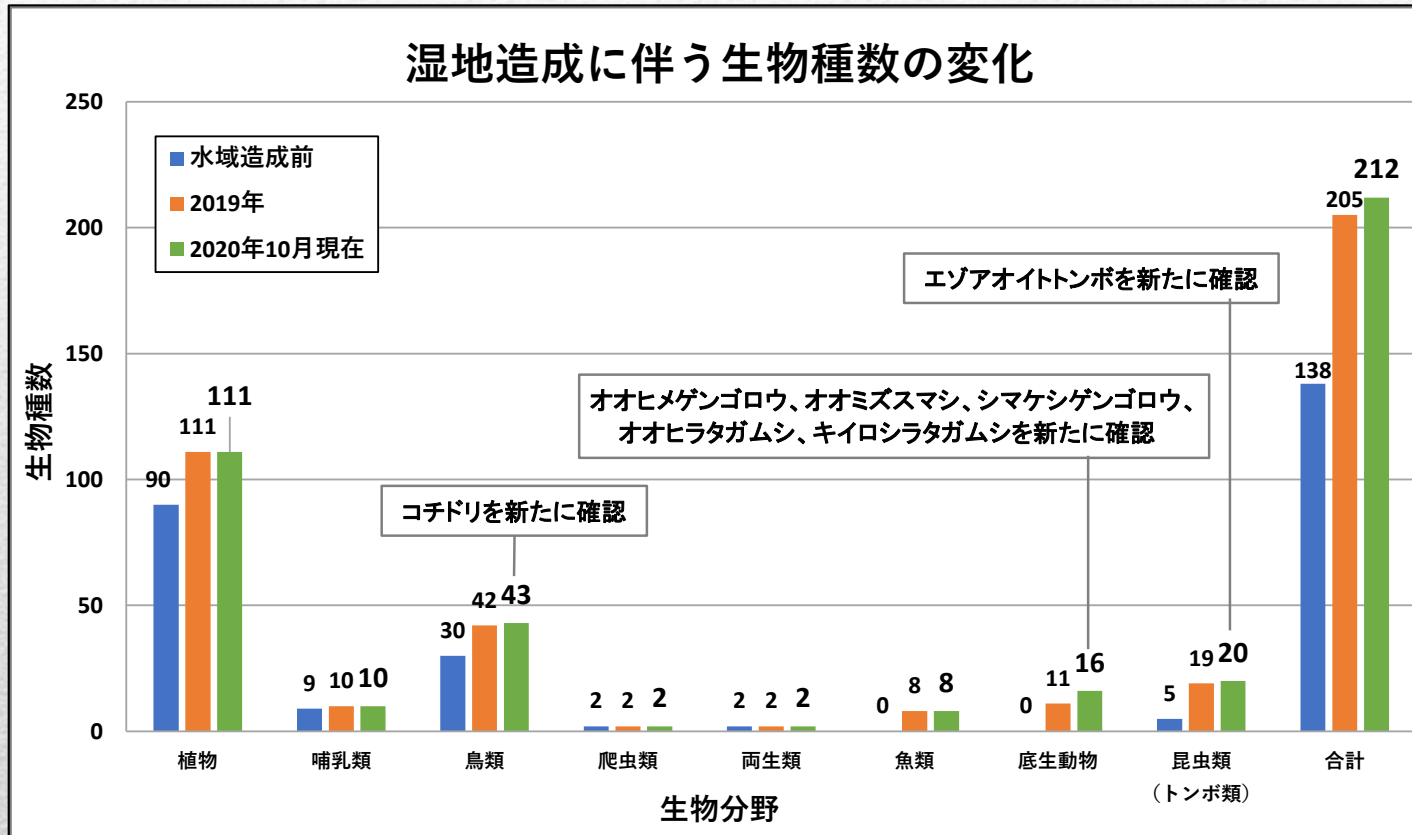
湿地造成前 138種 → 2020年10月 212種 54%増加



15【陸の豊かさも守ろう】

**目標：湿地環境の創出により49%(138種→205種)増加した
生物種数を2030年まで維持する。**

2020年10月現在までの成果



コチドリ



オオミズスマシ※



エゾアオイトトンボ

鳥類はコチドリを、底生動物は重要種オオミズスマシ※を含む計5種類、昆虫(トンボ類)はエゾアオイトトンボを新たに確認した。

※ 環境省レッドリスト2019 準絶滅危惧 (NT)

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



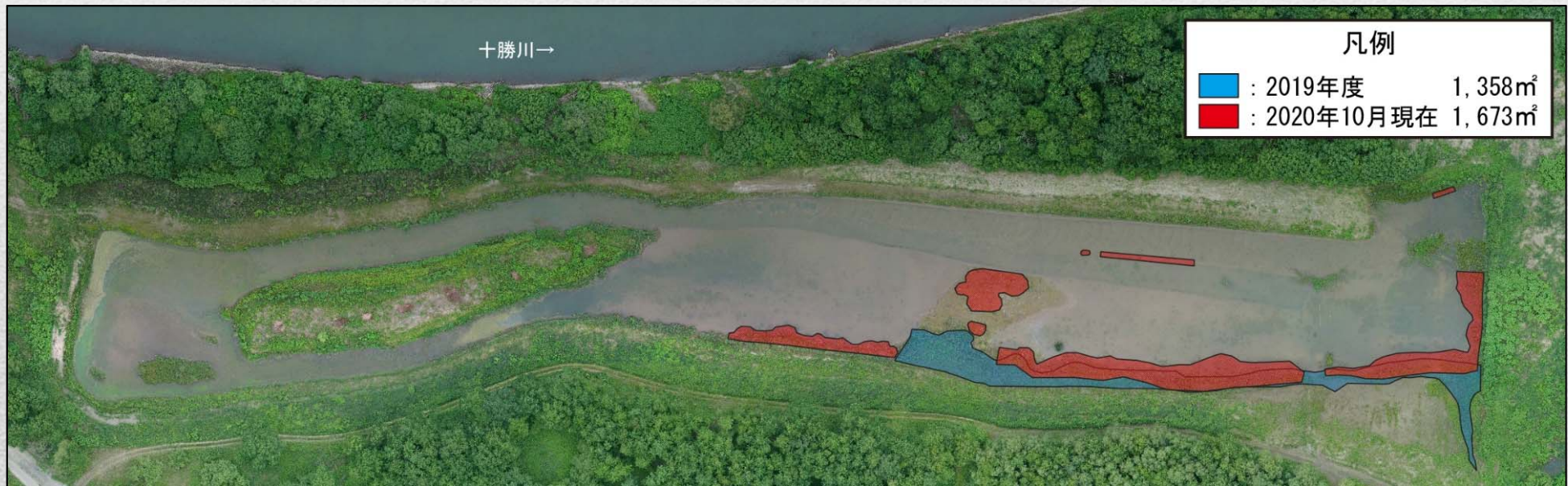
17【パートナーシップで目標を達成しよう】

目標：32.4m²/年のゴザの原材料のガマを提供し続ける。

(アイヌ語でゴザを「キナ・チタラペ※」、ガマを「シキナ」という)

2020年10月現在までの成果

相生中島上流湿地に生育しているガマは、アイヌ民族の伝統儀礼の際に使用されるゴザの原料であり、その原料のガマが近年減少し確保が困難なことから、継続的な提供ができるよう生育面積の拡大と維持を行っている。希望される量のガマを提供するため、2019年時点での1,358m²から1,523m²へと面積の拡大が求められていたが、2020年10月現在では1,673m²と、2019年時点より19%増加し、目標とする生育面積を確保することができた。



2019年度 1,358m² → 2020年10月 1,673m² 19%増加で目標生育面積を確保

※ ゴザは大きさや文様の有無、用途や材料、地方によって呼び方が異なる